

彦根警察署協議会議事録

開催日時	令和5年11月28日（火）午後2時～午後5時	
開催場所	彦根警察署	
出席者	委員	北川孫雄会長、高橋嘉子副会長、山田綾子委員、中川捨次郎委員 青山吉伸委員、福本真理子委員、柴田謙委員
	警察	署長、副署長、調査官(警務課長)、交通課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「明日は、歳末警戒出動式と聞いており、協議会を代表して参列させていただく。慌ただしい中ではあるが、彦根警察署の活動に反映していただけるよう、委員の皆様には積極的に意見・提言をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「今年も残り1か月となったが、彦根警察署としても気持ちをしっかりと引き締め、署員一丸となって各活動を推進していくので、今後とも御支援をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 業務概要説明</p> <p>警察から、令和5年1月～10月の業務概要について説明がなされた。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の結果報告について</p> <p>会長から、11月16日に開催された警察署協議会代表者会議の結果について報告がなされた。</p> <p>(2) 飲酒運転根絶への取組方策等について</p> <p>警察から、飲酒運転根絶への取組方策についての説明の後、令和4年12月に管内で発生した交通事故の被害者遺族の手記を発表した。その際、委員から、「飲酒運転の撲滅には、本人の自覚が一番大事であり、酒を提供する側に対する啓発に加えて、飲食時に視聴覚に訴える工夫を凝らした啓発が効果的ではないか。」、「警察官の姿を見せることが大切であり、歓楽街を中心とした警戒活動や制服警察官の立番を増やすことで、飲酒運転だけではなく各種犯罪の抑止にもつながるのではないか。」との提言がなされた。</p> <p>また、委員から、「私は20年前に交通事故に遭い、同乗の家族も大怪我を</p>	

した。相手は飲酒運転であった。飲酒運転が悪いということをもっと周知し、これ以上、悲しい被害者を出さないための活動をお願いしたい。」「年末になり飲酒の機会が増える時期は飲酒運転も増えるので、取締りをしっかりと実施していただきたい。」「見つからなければ構わないという逃げ得を許さないためにも、しっかりと取締りしていただきたい。」「手記にあった事故は報道で知っているが、誰もが遭遇し得る事故だと考えられるので、飲酒運転の取締りは、引き続き、厳重に行っていただきたい。」旨の意見がなされ、警察から、「委員の御意見などを参考にしながら、引き続き、飲酒運転撲滅に向け厳正な取締りなど街頭活動を強化していく。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から、「警察の方々の昼夜を問わずの活動に感謝する。」旨の発言がなされた。

### (3) 次回協議会の日程

令和6年2月に実施されることとなった。